

令和 6 年度特定健診歯科保健指導 導入事業研修会

～大崎市実施状況～

実施概要

実施日	実施会場	特定健診受診者数 (40歳～74歳)	事業参加者
令和6年6月25日(火)	鬼首基幹集落センター	70名	20名
6月26日(水)	川渡地区公民館	72名	29名
6月27日(木)		72名	22名
6月28日(金)	中山コミュニティセンター	49名	19名
6月29日(土)	鳴子スポーツセンター	78名	20名
7月1日(月)		107名	24名

実施体制

- 口腔チェック：歯科医師 1 名／補助：歯科衛生士 2 名（口腔チェック補助 1 名、問診票記入補助 1 名）
- 歯科保健指導：歯科衛生士 2 名（大崎市職員）
- 会場誘導及び審査票記入補助：3 名

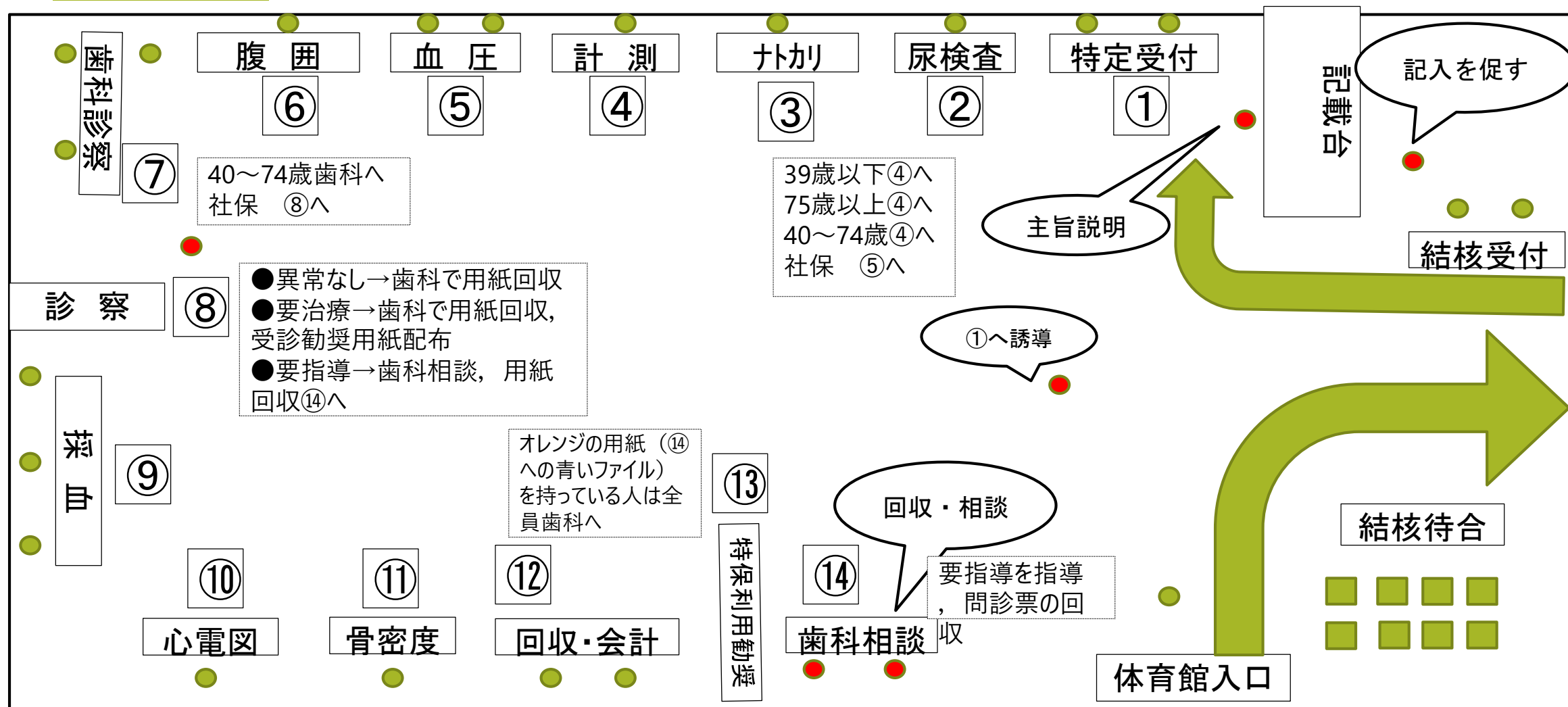
※6月29日（土）実施時のみ

口腔チェック：歯科医師 2 名／補助：歯科衛生士 4 名

（特定健診受診者が多数となることが見込まれたため、2 ブースで対応）

会場図

鬼首地区公民館



事業に参画した理由・背景

大崎市では合併時より市内全域で、特定健診の場面を活用した歯科衛生士による歯科相談事業を実施している。特定健診終了後に希望者が歯科相談に立ち寄る流れとして実施しているが、特定健診受診者の約15%程度しか受けていない。その中で鳴子地域は歯科相談に立ち寄る人の割合は他地域と同程度であるが、来談者が固定化している状況にあり、併せて他の地域に比べて過去一年間に歯科治療をしている割合が低い、定期健診を受けている割合が低い、歯みがき状況がよくないという課題があるため、歯科医師による歯科指導を特定健診の流れの中に組み込み、できるだけ多くの市民に歯科指導を受ける機会にしたいと考えた。

※定期的に歯科医院を受診している者の割合

【R5 特定健診時の歯科相談結果（40～74歳）より】

大崎市平均 47.6%、鳴子地域平均 39.0%

※過去一年間に歯科治療をした者の割合

大崎市平均 55.3%、鳴子地域平均 44.1%

※一日3回歯をみがいている割合

大崎市平均 36.6%、鳴子地域平均 23.4%

実施にあたり期待した効果

- 自身の口腔内状況を知ることで、歯科健診を受診する者を増加させる
- 歯科保健指導を受けることにより、口腔ケアの状況を改善させる
- 歯科受診につながる人を増加させる

実施における課題

- ・特定健診受診者全員が歯科指導を受けることを目指したが、歯科口腔保健に関する意識が低い人に口腔チェック等を受けてもらうことへの難しさを感じた
- ・特定健診の流れを停滞させずに多くの市民に受けてもらうためには実施体制を効率化し、所用時間を短縮させることが必要

次回実施時に工夫したいこと

- ・できるだけ多くの市民が口腔チェックを受けられるよう、問診票の項目を見直し、記載しやすくする。
- ・大崎市の特定健診時の「歯と歯肉の相談」事業のイメージが固定化しているため、用紙の色や事業タイトルを変更する。
- ・口腔ケアを怠ることによるリスクについて、危機感を持たせるような内容のパネル等を会場内に設置する。

今後の展望

- 鳴子地域においては今年度の特定健診時の歯科保健事業導入事業との比較のため、令和7年度も同様の体制で実施できるよう調整を進めている
- 鳴子地域以外の会場においては同様の流れで歯科衛生士による歯科保健指導を実施できるよう準備、調整を進めている